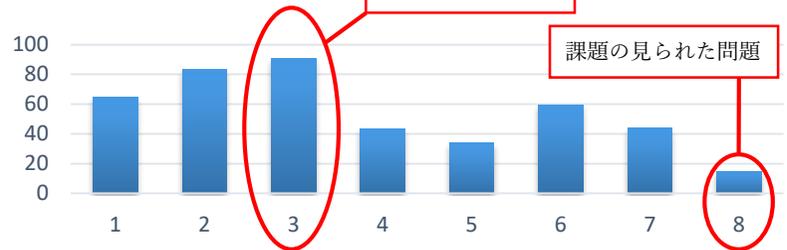


「1学期末問題」の結果を踏まえた授業アイデア例

【小学校 第5学年 算数】

全道の平均正答率



正答率の高い問題

課題の見られた問題

○ 課題の見られた問題

使いやすいはしの長さのめやす

使いやすいはしの長さは「一あたま」と言われています。
 一あたまは、親指と人差し指を直角に広げたときのそれぞれの指先を結んだ長さです。
 一あたま半は、一あたまを1.5倍した長さです。



(2) ももさんは新しいはしを買いに行こうと思いました。
 また、ももさんは一あたまの長さについてさらに調べて、下のことがわかりました。

一あたまは、身長の約0.1倍の長さです。

ももさんの身長は140cmです。
 ももさんの身長と、上の使いやすいはしの長さのめやすをもとに、はしの長さは約何cmになるかを求めましょう。

○ 正答率の高い問題

2 1, 3, 4, 9 のカードを1まいずつ使い、下の□に当てはめて小数をつくります。

□.□□□

次の問題に答えましょう。

(1) つくることができる数のうち、いちばん小さい数をつくりましょう。

A 数と計算

A(3) 小数の乗法、除法

〔思考力、判断力、表現力等〕

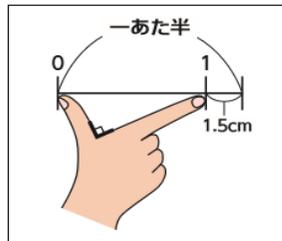
(ア) 乗法及び除法の意味に着目し、乗数や序数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに、それらの計算の仕方を考えたり、それらを日常生活に生かしたりすること。

○ 考えられる要因

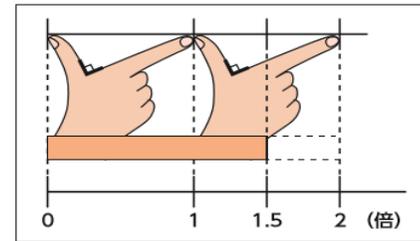
- ・問題解決に必要な数量に着目できていない。
- ・「一あたま」「一あたま半」「身長」の数量関係を捉えられていない。
- ・小数倍したときのおおよその値を見積もることができていない。
- ・問題解決に向け、「身長」から「一あたま」の長さを求め、さらに、「一あたま半」の長さを求めるという二つの段階を見通すことができていない。

○ 授業改善アイデア例

- ・次のように、間違っただけの考え方の図を示して図の誤りを指摘させる場面を位置付けるなど、1.5倍の意味を図と関連付けて理解できるようにすることが大切です。



(間違っただけの考え方の図)



(正しい考え方の図)

- ・倍の見方を別の場面には当てはめ、図を基に、立てた式の根拠を説明できるようにすることが大切です。

(別の場面例) 「寸(すん)」は、昔から使われている長さの単位で、約3cmです。持ちやすい湯飲みの直径は「二寸半」とされています。二寸半は、一寸を2.5倍した長さです。これは、約何cmになりますか。

二寸半の長さ()を表している図はどれでしょうか。

0.5cm

ア

イ

ウ

エ